

第8回 徳地歴史講座

参加無料
申込不要

— 松下村塾四天王 —

入江九一と徳地

吉田松陰から「才知にあふれ、忠義の志も厚い」と高く評価されて、高杉晋作・久坂玄瑞・吉田稔麿とともに「松門の四天王」と称された入江九一。しかし師である吉田松陰は安政6年（1859年）に江戸伝馬町の獄で処刑されます。そうした中で、24歳の入江九一は、文久元年（1861年）4月、藩から御番所手子雇夫（下級役人）として徳地宰判に出向くことを命じられます。約1年半弱、その後、高杉晋作と共に奇兵隊の創設に尽力（文久3年【1863年】6月）、そして京都蛤御門^{はまぐりごもん}の変（元治元年【1864年】7月19日）で、木島又兵衛・久坂玄瑞・寺島忠三郎らとともに戦死、と激動の幕末を28歳の若さで走り抜けていきました。

謎が多い徳地での入江九一の動き。郷土史家の山田文雄さんに、激動の時代を整理してこの謎を語ってもらいましょう。

令和5年

日時

9月16日（土）10時～12時

場所

山口市立徳地図書館 視聴覚室

講師

山田文雄氏（徳地史談会 会長）

問い合わせ 山口市立徳地図書館 TEL 0835-52-0043